

LEVEL

4

# カラスとハリネズミ

えぶん  
絵と文 アセム





これはカザフスタンの昔話<sup>むかしばなし</sup>です。

あるところに、「ハン」と呼ばれている君主<sup>くんしゅ</sup>がいました。

ある日<sup>ひ</sup>、ハンはカラスとハリネズミを呼びました。

そして、カラスに言<sup>い</sup>いました。

「私<sup>わたし</sup>は世界中で一番美<sup>うた</sup>しい歌<sup>うた</sup>を歌える鳥<sup>とり</sup>がほしい。  
毎朝<sup>まいあさ</sup>その歌<sup>うた</sup>を聞きながら目覚めたいのだ。その鳥<sup>とり</sup>を見<sup>み</sup>つけてこい。」

そして、ハリネズミにも言<sup>い</sup>いました。

「それから、もっともやわらかい物<sup>もの</sup>がほしい。毎朝<sup>まいあさ</sup>それにほほでふれたいのだ。」

ハンは一<sup>いちにち</sup>日でそれらを探<sup>さが</sup>してこいと命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>しました。



カラスは<sup>おお</sup>多くの<sup>ばしょ</sup>場所でたくさんの<sup>とり</sup>鳥の<sup>うた</sup>歌を<sup>き</sup>聞きました。  
<sup>うつく</sup>美しいのも、みにくいのも。

しかし、<sup>なに</sup>何かが<sup>た</sup>足りなかったのです。

<sup>つか</sup>疲れたカラスは<sup>じぶん</sup>自分の<sup>いえ</sup>家にもどりました。

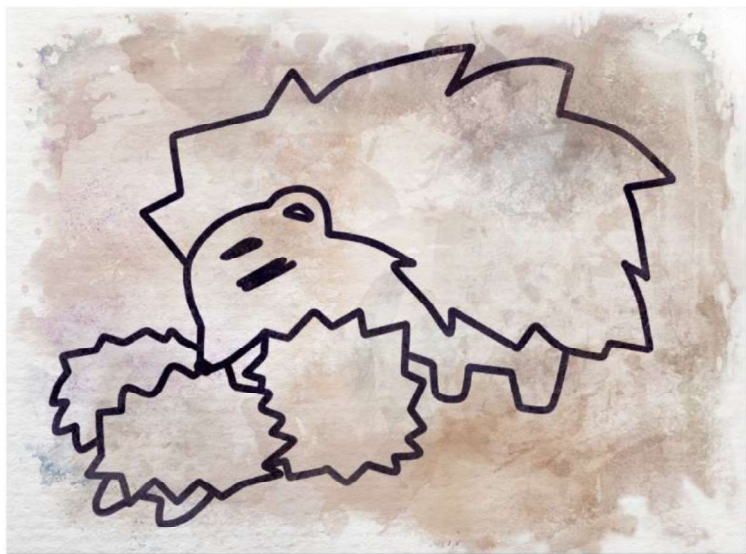


カラスを<sup>み</sup>てカラスの<sup>こども</sup>子供たちは<sup>な</sup>鳴<sup>はじ</sup>き始めました。  
カラスはその<sup>な</sup>鳴<sup>ごえ</sup>き声<sup>いちばんうつく</sup>が一番<sup>おも</sup>美しい<sup>おも</sup>と思いました。そ  
れで、その<sup>ちい</sup>小さいカラスたちをハンの<sup>しんしつ</sup>寝室<sup>しんしつ</sup>にはこびま  
した。



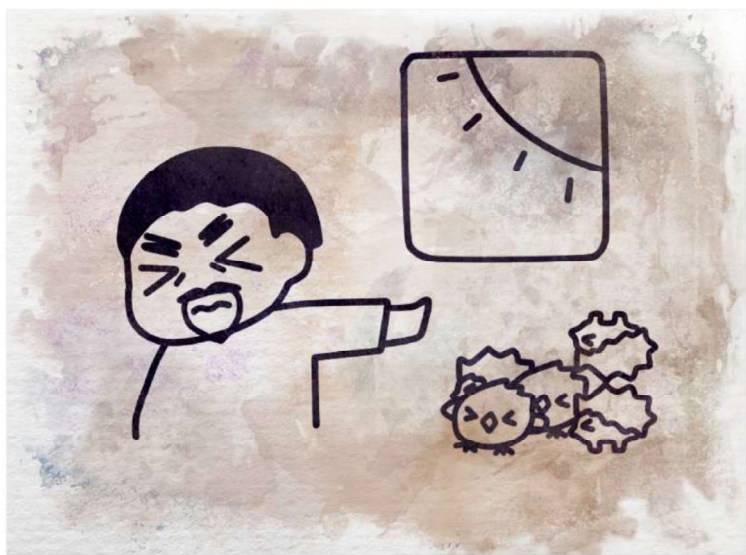
ハリネズミはすべての<sup>つち</sup>土の<sup>なか</sup>中をさがしましたが、<sup>なに</sup>何も<sup>み</sup>見つけれませんでした。

疲れたハリネズミは<sup>つか</sup>自分の<sup>じぶん</sup>穴<sup>あな</sup>にもどって、<sup>じぶん</sup>自分の<sup>こども</sup>子供<sup>あ</sup>たちに会いました。



こども<sup>だ</sup>子供たちを抱きながら、こども<sup>せかい いちばん</sup>子供たちが世界で一番やわ  
らかい<sup>おも</sup>と思いました。それで、<sup>ちい</sup>小さいハリネズミたち  
をハンの<sup>しんしつ</sup>寝室にはこびました。





あさ き  
朝が来ました。

ハンはカラスの<sup>こども</sup>子供のおおなごえめざ  
で目覚めました。

「うるさい！」

ハンが<sup>あたま</sup>頭を<sup>まわ</sup>回すと、<sup>こども</sup>子供の<sup>はり</sup>ハリネズミの<sup>かお</sup>針が<sup>あ</sup>顔に当  
たりました。

<sup>いた</sup>  
「痛い！」

ハンはとても<sup>おこ</sup>怒りました。そして、カラスとハリネ  
ズミの<sup>くび</sup>首を<sup>き</sup>切れと<sup>めいれい</sup>命令しました。

ハンは<sup>い</sup>言いました。

「お<sup>まえ</sup>前たちの<sup>さいご</sup>最後の<sup>き</sup>ことばを聞こう。」



カラスとハリネズミはぜんぶを<sup>かた</sup>語りました。

ハンはそれを<sup>き</sup>聞いてよく<sup>かんが</sup>えました。

そして、<sup>い</sup>言いました。

「それぞれの<sup>い</sup>生き<sup>もの</sup>物にとって、自分の<sup>じぶん</sup>子供<sup>こども</sup>は<sup>たいよう</sup>太陽より  
<sup>うつく</sup>美しく、はちみつよりも<sup>あま</sup>甘くて、<sup>あつ</sup>熱い<sup>ひ</sup>火よりも  
あったかくて、わたげよりもやわらかいのだ。」

ハンはカラスとハリネズミを<sup>かいほう</sup>解放しました。



カザフスタンの<sup>りゅうがくせい</sup>留学生、アセムさんが  
<sup>え</sup>絵と<sup>ぶん</sup>文を書きました。



## カラスとハリネズミ

2017年2月4日 発行

絵と文：アセムさん

監修：NPO多言語多読



NPO多言語多読

[tadoku.org](http://tadoku.org)